

飯塚立体駐車場 指定管理者

募集要項

令和7年

飯塚市 都市建設部 建設政策課

1. 指定管理者募集の趣旨	1
2. 飯塚立体駐車場運営の基本的な考え方	1
3. 施設の概要	1
4. 過去3年間の施設利用者数・使用料収入の実績	1
5. 供用日及び供用時間	2
6. 指定管理者が行う主な業務	2
7. 駐車料金の変更	2
8. 駐車場システムの管理・運営	2
9. 業務体制	3
10. リスク分担	3
11. 指定期間	3
12. 指定管理業務に係る経費	3
13. 指定管理料の精算	4
14. 応募に関する項目（申請資格等）	4
15. 公募スケジュール	4
16. 提出書類等	5
17. 提出書類等に関する特記事項	6
18. 応募に要する経費	6
19. 指定候補者の選定方法	6
20. 応募の無効又は応募者の失格	8
21. 指定管理者の指定等	8
22. 業務を実施するにあたっての留意事項	9
23. 問い合わせ先	9
24. 要項別紙 1～5	9

飯塚立体駐車場指定管理者募集要項

1 指定管理者募集の趣旨

飯塚立体駐車場（以下「立体駐車場」という。）については、民間の事業者等の創意工夫ある駐車場運営によって多様化する市民の要望、要請に効果的、効率的に応え、市民に対するサービスの向上を図ることを目的に指定管理者制度を採り入れることとしました。

指定管理者の指定にあたり、民間事業者等の理念や実績に基づいた立体駐車場の管理運営に関する提案をいただいたうえで、指定候補者を選定するため、広く事業者を公募いたします。

飯塚市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例(平成 18 年飯塚市条例第 13 号)第 18 条の規定に基づいて設置される飯塚市指定管理者選定委員会(以下「選定委員会」という。)において提案内容を審査のうえ、指定候補者を選定いたします。その選定結果に基づき市議会へ指定議案を上程し、市議会の指定の議決を受けた後に、飯塚市と協定を締結することで指定管理者に指定されることとなります。

2 立体駐車場運営の基本的な考え方

- (1) 立体駐車場は、『市の文化施設及び市商店街等の利用者の駐車場を確保すること』を目的とした施設で、その趣旨に則って管理・運営していきます。
- (2) 公の施設管理運営の責務を認識して、利用者に平等な利用が確保できる管理運営を行います。
- (3) より使いやすい立体駐車場を目指して、効率的・効果的な運営や地域活性への貢献等を行っていただくことで、駐車場利用者へのサービス向上および利用促進を図ることが必要です。
- (4) 公の施設は、「市民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設」で、施設の利用を通じて市民サービスの向上を図ろうとするものです。

そのため、民間事業者のもつ創意工夫ある運営により、効果的かつ効率的な駐車場運営を図ろうとするものです。

※ 立体駐車場運営の基本的な考え方は、飯塚立体駐車場管理運営仕様書(以下「仕様書」という。)に再掲載します。

3 施設の概要

- (1) 名称：飯塚立体駐車場
- (2) 所在地：飯塚市飯塚 14 番 7 号
- (3) 敷地面積等

※ 施設概要等の詳細は、仕様書に再掲載します。

4 過去 3 年間の施設利用者数・使用料収入の実績

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
年間利用台数 (台)	68,095	80,732	102,620
年間使用料収入 (円)	11,749,500	11,755,963	21,228,242

5 供用日及び供用時間

- (1) 条例による供用日、供用時間は、次のとおりです。ただし、指定管理者は、あらかじめ市長の承認を得て、供用日、供用時間を変更することができます。
- (2) 供用日・供用時間・入出庫できる時間

供用日	供用時間・入出庫できる時間
1月1日から12月31日まで	0時から24時まで

※ 供用日及び供用時間の詳細は、仕様書に再掲載します。

6 指定管理者が行う主な業務

- (1) 駐車場の利用に関する業務
利用者へのサービスに関する業務
 - (2) 駐車料金の徴収等の事務に関する業務
 - (3) 駐車場の維持管理に関する業務
駐車場内の清掃業務
建築物の保守管理業務
設備の保守管理業務
 - (4) その他の業務
事業計画書及び報告書の作成
文書等の管理・保存
指定期間終了時の事務引継ぎほか
- ※ 業務等の詳細は、仕様書に再掲載します。

7 駐車料金の変更

駐車料金の設定については、飯塚市営駐車場条例（平成18年飯塚市条例第170号。以下「駐車場条例」という。）第6条に定めるとおりとし、承認料金制（指定管理者が地方公共団体の承認を受けて、駐車料金を定めることができること。）は採用しません。

時間制料金	基本料金	1時間以内	200円
		1時間を超え4時間以内	310円
	割増料金	4時間を超え30分ごとに	100円
上限料金		1日につき1,200円以内で規則で定める額	

備考

- 1 上記の料金は、消費税及び地方消費税を含む。
- 2 割増料金の算定の場合においては、30分未満の端数があるときは、その端数は30分として計算する。
- 3 この表において「1日」とは、入庫した時から連続した24時間をいう。

8 駐車場システムの設置・管理

出口精算機・事前精算機、発券機・カーゲートなどの関連設備等一式（以下「駐車場システム」という。）については、指定管理者の責任において設置及び管理するものとします。駐車場システムの設置・管理に必要な費用は指定管理料に含まれるものとして提案してください。なお、現機器は撤去するもの

とし、撤去費用は指定管理料に含まれるものとして提案してください。

駐車場システムの設置については、現行の定期駐車券・プリペイドカードと同等のサービスが可能であることが条件です。また、指定期間終了後は、作業日程等を新たな指定管理者と協議のうえ原状回復していただきます。駐車場システムの設置に要する作業工程・駐車場の一部または全部を休止する必要の有無等についても併せて提示してください。

現機器は以下のとおりです。

名称	メーカー・型番	台数
駐車券発行機	アマノ GT-2800	2台
自動料金精算機	アマノ GT-7700C	2台
料金計算機	アマノ TF5620C/5630C TF5650 0AC5650	2台
カーゲート	アマノ GT-1540	4台
磁気カード書込機	アマノ TF-3900N	1台
認証機	アマノ AR-150	7台
事前精算機	アマノ GT-7800C	1台

9 業務体制

- (1) 指定管理業務を効率的に実施するために適正な人員を配置するとともに、労働基準法(昭和 22 年法律第 49 号)ほか労働関係法令の規定を遵守し、業務の実施に支障が生じないよう必要な業務執行体制を確保するものとします。
- (2) 立体駐車場管理運営業務に支障が生じないよう必要な業務執行体制を確保するとともに、適正かつ効率的な人員配置を行うものとします。
- (3) 仕様書に掲げる業務に支障のないよう、施設の円滑な維持管理、運営を行うため、また、許可利用者に対してサービスを確実に提供するための配置を提案できるものとします。

※ 業務体制の詳細は、仕様書に再掲載します。

10 リスク分担

指定管理者と市とのリスク分担は、概ね仕様書のとおりとします。規定した事項以外のことが発生した場合は、双方の協議によるものとします。

11 指定期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日までの間(5 年間)とします。

12 指定管理業務に係る経費

- (1) 本事業では利用料金制(施設の利用に係る料金を指定管理者の収入とすること)を採用しません。
- (2) 指定管理業務は、飯塚市が支弁する指定管理料(委託料)を運営経費として実施してください。
- (3) 指定管理料の上限額は、単年度 19,658,000 円(消費税及び地方消費税を含む。)とします。
ただし、消費税及び地方消費税の税率が改定になった場合は、協議後、指定管理料を決定します。

13 指定管理料の精算

指定管理者の経営努力の有無による指定管理料の過不足については、修繕料を除き、精算は行いません。なお、指定管理料に含まれる修繕料は880,000円(消費税及び地方消費税を含む。)とします。

修繕料にかかる経費が880,000円を超える場合は、事前に協議するものとします。

14 応募に関する項目(申請資格等)

(1) 応募者の参加資格等

法人その他の団体(以下「法人等」という。)で、飯塚立体駐車場の管理運営を継続して安定的に実施する能力を有すると認められるものとします。ただし、次に掲げる事項のいずれかに該当する法人等(法人格を有しない団体にあつては、その代表者。以下同じ。)は、指定管理者の指定を受けることができません。

- ① 法律行為を行う能力を有しない者
- ② 破産者で復権を得ない者
- ③ 地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第11項の規定により指定を取り消され、その取り消しの日から2年を経過しない者
- ④ 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4第2項(同項を準用する場合を含む。)の規定により、飯塚市における一般競争入札等の参加を制限されている者
- ⑤ 指定管理者の指定を委託とみなした場合に、地方自治法第92条の2、第142条(同条を準用する場合を含む。)又は第180条の5第6項(同項を準用する場合を含む。)の規定に抵触することとなる者を構成員とするもの
- ⑥ 国税及び地方税を滞納している者
- ⑦ 福岡県暴力団排除条例(平成21年10月19日福岡県条例第59号)に規定する暴力団または暴力団員等を構成員とするもの。また、同条例「第四章暴力団員等に対する利益の供与の禁止等」の規定に該当する者。

(2) 法人格及び個人応募

- ① 団体の場合は、必ずしも法人格は必要ありません。
- ② 個人で応募することはできません。
- ③ 団体については、個人や法人の単なるグループではなく、組織や責任の所在が明確化されたものに限ります。
- ④ 共同事業体の場合には、協定書等出資比率が分かる書類の提出により、応募できます。
- ⑤ 応募時において市内に事業所を有しない団体が指定管理者に指定された場合には、協定書締結後速やかに、市内に人的及び物的設備を備えた事務所又は事業所(※法人市民税における事務所等要件を満たすこと)を置くこと。

15 公募スケジュール

(1) 募集要項の配布

- ① 配布期間 : 令和7年4月1日(火)～令和7年5月30日(金)
- ② 配布場所 : 飯塚市新立岩5番5号 飯塚市役所建設政策課 総務・国県道係
- ③ 配布時間 : 午前8時30分から午後5時15分(ただし土日祝日を除く)

(2) 現地説明会

- ① 日時 : 令和7年4月16日(水) 10時
- ② 会場 : 飯塚立体駐車場

- ③ この現地説明会には、必ず参加してください。
- ④ 募集要項・現場説明会参加受付票(要項別紙 1)に必要事項を記入のうえ、受付に提出して必ず参加の確認を受けてください。
- ⑤ 説明会は、30分程度を予定しますが、進行にご協力ください。
- (3) 質問受付
- 次のとおり、募集要項及び仕様書の内容に関する質問を受け付けます。
- ① 受付期間 : 令和7年4月16日(水)から同4月23日(水)までの間
- ② 質問方法 : 必ず募集要項・仕様書に関する質問書(要項別紙2)によることとします。口頭及び電話での質問、問い合わせには、一切お答えできません。
- ③ 提出方法 : 提出先に持参されるか、郵送等若しくはファクシミリ又は電子メールで提出してください。なお、郵送等並びにファクシミリ及び電子メールの場合は、必ず送信した旨を電話連絡してください。
- ④ 提出先 : 飯塚市役所建設政策課 総務・国道道係
- ・住所 〒820-8501 飯塚市新立岩5番5号
 - ・電話番号 0948-96-8471
 - ・FAX番号 0948-22-5827
 - ・Eメールアドレス kensetsu-seisaku@city.iizuka.lg.jp
- ⑤ 注意事項
- (ア) 質問書を持参される場合は、受付期間の午前9時から午後5時までの間とします。
- (イ) 郵送等で提出される場合は、事情の如何にかかわらず受付期間内に到着したものに限ります。
- (ウ) 質問書には、必ず日付を明記してください。
- (4) 質問に対する回答
- 提出された質問に対する回答方法等は、次のとおりです。
- ① 回答期日 : 令和7年4月30日(水)
- ② 回答方法 : 飯塚市の公式ホームページに、順次、掲載します。なお、質問を提出した応募者個々に対する回答は行いませんのでご注意ください。
- ③ ホームページアドレス : <http://www.city.iizuka.lg.jp>

16 提出書類等

- (1) 提出書類
- ① 申請書(様式第1号)
- ② 申請資格を有していることを証する書類
- (ア) 法人の登記事項証明書(法人以外の団体にあつては、団体の代表者の身分証明書)
- (イ) 定款、寄附行為、規約その他これらに相当する書類
- (ウ) 申請資格に関する申立書(様式第2号)
- (エ) 市長が指定する国税及び地方税の納税に関する証明書(要項別紙3)(直前3か年分)
- ③ 指定管理施設の事業計画書(様式第3号)
- (ア) 本募集要項19(2)選定の基準(評価項目)順に具体的な提案を行うこと。
- (イ) A4版、縦方向、横書き、長辺とじ、30ページ以内とし、文字は11ポイント以上で印刷すること。
- (ウ) 提案趣旨はアピールしたいポイントなどを簡潔にわかりやすく記述し、意思表示は明確にすること。

- ④ 団体概要書(様式第4号)
- ⑤ 団体の経営状況を説明する書類
 - (ア) 収支(損益)計算書又はこれに相当する書類(直前3か年度分)
 - (イ) 貸借対照表又はこれに相当する書類(直前3か年度分)
 - (ウ) 財産目録又はこれに相当する書類(直前3か年度分)
 - (エ) 現事業年度の収支予算書及び事業計画書又はこれらに相当する書類
 - (オ) 団体の役員名簿及び組織に関する事項について記載した書類又はこれらに相当する書類
 - (カ) 共同事業体の場合、協定書等出資比率が分かる書類の写し
- ⑥ 暴力団員等の排除に係る調査承諾書(要項別紙5)
- ⑦ 上記の提出書類のうち、提出できない書類がある場合はその理由書(任意様式)
- (2) 提出部数
 - ① 提出部数は、正本1部及び副本13部とします。
 - ② 正本は、すべて原本及び原本証明されたものとします。副本13部についてはコピー可とし、申請者の名称やその他申請者が特定される情報(ロゴマーク等)は記載しないでください。(写真等の資料にも記載がないことを確認してください。)
 - ③ 書類は、表紙を「指定管理者申請書」として前記(1)の①から⑥までの書類に頁番号を付したうえ、一部ごとにファイリングし、提出してください。
- (3) 受付期間及び提出方法等
 - ① 受付期間：令和7年5月29日(木)～5月30日(金)午前9時～午後5時
 - ② 提出方法：必ず持参のうえ提出してください。(郵送等では受け付けません。)
 - ③ 提出先：飯塚市役所 建設政策課 総務・国県道係 電話：0948-96-8471
- (4) その他
書類を提出した後に応募を辞退する場合は、指定管理者応募辞退届(要項別紙4)を提出してください。

17 提出書類等に関する特記事項

- (1) 提出書類は、理由の如何にかかわらずお返しできませんのでご了承ください。
- (2) 提案内容の著作権は応募者に帰属するものとしますが、飯塚市は、選定結果の公表等に必要な場合は、その提案内容の一部又は全部を使用できるものとします。
- (3) 受付期間を過ぎた場合にあっては、原則として、提出書類を差替え、若しくは修正又は変更することはできません。
- (4) 指定管理者として指定された団体等の提出書類は、飯塚市情報公開条例(平成18年飯塚市条例第10号)の規定に基づく情報公開請求による公開の対象となります。
- (5) 飯塚市が提供する資料等は、指定管理者に応募するための検討目的以外の目的に利用することを固く禁じます。

18 応募に要する経費

応募に要する経費等は、すべて応募者の負担とします。

19 指定候補者の選定方法

(1) 選定委員会の審査

飯塚市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例(平成18年飯塚市条例第13号)第18条の規定に基づいて設置される飯塚市指定管理者選定委員会(以下「選定委員会」という。)の審査を経た

うえで指定候補者を選定します。なお、審査にあたっては、次に掲げる選定の基準(評価項目)に基づいて総合的に評価します。

又、審査にあたっては、プレゼンテーションを実施します。プレゼンテーションは、提出した指定管理施設の事業計画書に基づいて行うものとし(提出していない資料は使用不可)、申請者の名称やその他申請者が特定される情報(ロゴマーク等)は記載及び発言しないでください。(写真等の資料にも記載がないことを確認してください。)なお、具体的な日程等は、後日連絡します。

(2) 選定の基準(評価項目)【以下は、選定委員会で用いられる選定評価書の内容です。】

- ① 指定管理施設の利用に関し不当な差別的取扱いが行われるおそれがないこと
 - (I) 利用者の平等な利用の確保
 - 1 利用者の平等な利用の確保が図られているか
 - (II) 個人情報保護対策
 - 1 秘密保持、個人情報保護についての措置が十分とられているか
- ② 事業計画が指定管理施設の設置目的に即した適切なものであること
 - (I) 施設の設置目的の理解
 - 1 施設の設置目的の理解がなされているか
 - (II) 管理運営理念・方針
 - 1 施設の性格や設置目的を踏まえた管理運営に対する理念や基本の方針が示されているか
- ③ 指定管理施設の効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること
 - (I) 事業計画、方針
 - 1 事業運営に対する熱意や意欲があるか
 - 2 施設の利用促進への具体的提案がなされているか
 - 3 サービス向上が見込める提案がなされているか
 - 4 施設の効用を発揮できる効果的な提案であるか
 - 5 モニタリングに対する考え方は適切であるか
 - (II) 事業収支計画
 - 1 収支計画が適正で施設の管理運営に係る経費の縮減が図られているか
 - 2 見積額
 - (III) 地域との連携、社会貢献
 - 1 地元人材の雇用や障がい者、高齢者の雇用への取組に十分な配慮がなされているか
 - 2 ワークライフバランスの充実や男女共同参画の推進に向けた取組はなされているか
 - 3 再委託や物品調達などについて市内の企業等の積極的な活用に十分な配慮がなされているか
- ④ 指定管理施設の管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有していること
 - (I) 業務実績
 - 1 同種・同類の業務実績があるか
 - (II) 実施体制
 - 1 団体の運営体制の安定性・継続性は確保できるか
 - 2 有資格者を含めて人的配置は十分であるか
 - 3 危機管理体制、安全対策は十分であるか
 - 4 指定管理者の帰責事由による損害賠償等のリスクに対応できるか
 - (III) 経営基盤
 - 1 経営基盤(安定性・信頼性・透明性・公平性)は十分であるか
 - (IV) 市内団体等への優遇措置

- 1 市内団体等と市外団体等(市内団体等と市外団体等の共同事業体を含む。)が競合する場合は、市内団体等に配点合計の100分の5を加点するものとします。なお、市内団体のみで構成する共同事業体の申請にあつては配点合計の100分の5としますが、市内団体と市外団体が構成する共同事業体の申請にあつては共同事業体協定書に示された出資比率で按分して加点するものとします。なお、共同事業体の場合は、申請時に協定書等出資比率が分かる書類の写しの提出を求めることとします。
※市内団体とは法人の場合は本社、その他団体の場合は代表者住所を市内に有するものとします。

(3) 選定結果の公表

選定結果については、応募者に個別に文書で通知します。

20 応募の無効又は応募者の失格

次のいずれかに該当する場合は、応募を無効とし、又は失格とします。

- ① 申請書の提出方法、提出先、提出期限、プレゼンテーション参加など応募及び審査に必要な手続きを守らなかった場合
- ② 記載すべき事項の全部又は一部を記載しなかった場合
- ③ 申請書に記載すべき事項以外の内容を記載した場合
- ④ 虚偽の内容を記載した場合
- ⑤ 応募に関して不正行為が明らかになった場合
- ⑥ 明らかに管理運営能力が欠けていると判断される場合
- ⑦ 経費の縮減が達成されない場合（提案された指定管理料が公募要項等に規定された指定管理料基準額（上限額）を上回る場合）
- ⑧ 募集要項に規定された応募資格を有しない場合
- ⑨ 選定評価書の総得点率が50%に満たない場合
- ⑩ その他選定基準を満たさない場合
- ⑪ その他応募資格に適さないと認められる場合

21 指定管理者の指定等

(1) 指定管理者の決定

指定管理者は、飯塚市議会における指定の議決を経て決定します。なお、指定の議決は令和7年9月又は12月に開会される飯塚市議会を予定しています。

(2) 詳細事項の協議及び協定の締結

議会の議決後に指定管理業務の実施に関する詳細について、飯塚市との協議を経て、協定を締結します。全指定期間を包括する基本協定と事業実施年度ごとの細目等に関する年度協定を締結します。なお、基本協定を締結したときは、告示します。

(3) 事務引継ぎ等

指定の議決後、指定管理業務の開始までに、飯塚立体駐車場の管理運営について必要な事項の引継ぎを行います。

(4) 指定管理者導入施設の調査等（モニタリング、評価）

指定管理者による施設管理の適性を期するため、随時、施設への立入等により管理運営状況を確認（モニタリング）するとともに、各年度の評価を実施します。

(5) 指定管理業務の継続が困難になった場合の措置

上記導入施設の調査結果（モニタリング、評価）等、指定管理者の責めに帰すべき理由によって、指定管理業務の継続が困難になった場合は、飯塚市は、指定を取り消すことができるものとします。この

場合にあつては、飯塚市に損害が生じたときは指定管理者が賠償責任を負うものとします。

22 業務を実施するにあたっての留意事項

(1) 個人情報の保護

業務上知り得た個人情報については、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)及び飯塚市個人情報の保護に関する法律施行条例(令和4年飯塚市条例第20号)により、適正な取り扱いをしなければなりません。

(2) 情報公開

市民が利用する公共施設の管理であることを認識し、飯塚市情報公開条例により、その管理運営についての透明性を高めるよう努めることとします。

(3) 再委託

指定管理者が行う業務を一括して第三者に委託することはできません。ただし、駐車場システム等保守業務、施設・設備の維持管理業務など専門的な業務を再委託することは差し支えありません。

※ 再委託できる業務は、仕様書に再掲載します。

(4) 施設における事故等

① 事故、火災等の緊急事態が発生した場合は、指定管理者の判断と責任において救急車又は警察の出動要請ほか必要な措置を速やかにとるとともに、その旨を担当課に速やかに報告しなければなりません。

② 利用者に事故あるときは、適切な対応を行うとともに、その旨を担当課に速やかに報告しなければなりません。

(5) 事業報告等

① 指定管理者は、管理業務の実施状況、利用状況、管理経費の収支状況その他の事項について報告書を作成し、市に提出してください。概ね月次報告、四半期報告及び年次報告を予定します。なお、年次報告は毎年度終了後60日以内に、その他の報告は定期的に提出するものとし、詳細は協定で定めます。

② 指定管理者は、指定期間2年目以降の事業計画を策定し、市の当初予算編成に支障がないよう市と協議のうえ提出するものとします。

23 問い合わせ先

〒820-8501 飯塚市新立岩5番5号

飯塚市役所建設政策課 総務・国県道係

電話番号 0948-96-8471

FAX番号 0948-22-5827

Eメールアドレス kensetsu-seisaku@city.iizuka.lg.jp

24 要項別紙1～5

募集要項・現場説明会参加受付票

(飯塚立体駐車場指定管理者公募)

令和 年 月 日

団 体 名		
代表者氏名		
所 在 地	〒	
連 絡 先	電話番号	
	FAX 番号	
	E-mail	
	ホームページ	
参 加 者	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
備 考		

※ この参加受付票は、必ずご提出ください。

※ 個人情報に関する事項については、記載の必要はありません。

市長が指定する国税及び地方税の納税に関する証明書

申請者の種別		国税	地方税		
法人	本社が市内	納税証明書「その3の3」 (法人税及び消費税に未納のない証明)	【都道府県税】納税証明書(法人県民税及び法人事業税に未納がないことが分かるもの) 【飯塚市課税分】滞納なし証明書		
	本社が市外		飯塚市に事業所等がある	【都道府県税】納税証明書(法人県民税及び法人事業税に未納がないことが分かるもの) 【本店所在地の市区町村】納税に関する証明書	
			飯塚市に事業所等がない		飯塚市の賦課あり
					飯塚市の賦課なし
その他の団体	代表者が市内在住	納税証明書「その3の2」 (所得税及び消費税に未納のない証明)	【都道府県税】納税証明書(都道府県税に未納がないことが分かるもの) 【飯塚市課税分】滞納なし証明書		
	代表者が市外在住		飯塚市の賦課あり	【都道府県税】納税証明書(都道府県税に未納がないことが分かるもの) 【代表者居住地の市区町村】納税に関する証明書	
			飯塚市の賦課なし		

※「納税に関する証明書」とは滞納のない証明又は納税証明書とする

※福岡県に納税義務がない法人の場合は、法人登記事項証明書(履歴事項全部証明書)に記載されている本店所在地の都道府県に未納がない証明書

※飯塚市の賦課あり：直近3ケ年に飯塚市に固定資産を有していた場合など

※非課税の場合は非課税証明とする

※法人設立が間もないため賦課がない場合等はその理由書(任意様式)とする

指定管理者応募辞退届

(飯塚立体駐車場指定管理者公募)

令和 年 月 日

下記の理由をもって、指定管理者公募に係る応募を辞退いたしたく届けます。以後、飯塚立体駐車場の指定管理者応募に関して、いかなる権利も主張しないことを誓約します。

【団体名等】

団体名 (代表団体名)		
代表者氏名		
所在地	☎	
担当者 (連絡先)	所属・氏名	
	電話番号	

【辞退理由】

- ※ 辞退届の書式は任意で結構です。なお、この書式は、参考資料として作成しております。
- ※ また、辞退届提出後は、飯塚立体駐車場の指定管理者応募に関する権利は主張できませんのでご注意ください。

暴力団員等の排除に係る調査承諾書

令和 年 月 日

飯塚市長 様

(申請書)

所在地又は住所

団体名

代表者氏名

飯塚立体駐車場の指定管理者に係る指定申請に伴い、別紙の代表者等(法人にあつては、非常勤を含む役員及び経営に事実上傘下している者、任意の団体にあつては、その代表者及び経営に事実上参加している者をいう。)が応募制限に該当するか否かについて福岡県警察本部に照会されることを承諾します。

なお、申請にあたり、代表者等が応募の制限に該当しないことを申し添えます。

令和 年度 ○○役員名簿

氏名(カナ)	氏名	元号 大正:T 昭和:S 平成:H	年	月	日	性別 男性:M 女性:F	住所